

目 標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
-----	--

●学習内容

1 学期	20 時間	2 学期	28 時間	3 学期	22 時間
第 1 部 地図でとらえる現代世界	20	第 2 部 国際理解と国際協力	28	第 2 部 国際理解と国際協力	10
1 地図と地理情報システム		1 生活文化の多様性と国際理解		2 地球的課題と国際協力	
2 結びつきを深める現代社会				第 3 部 持続可能な地域づくりと私たち	12
				1 自然環境と防災	
				2 生活圏の調査と地域の展望	

教材
教科書:「新地理総合」帝国書院 ワークノート:「新地理総合ノート」帝国書院 資料集:「CONNECT 地理総合」第一学習社 自主作成教材(プリント)

授業の進め方
社会の一員として、現代の諸課題に関して主体的に考える市民性を養うことを目指して、社会的な見方・考え方を働かせて様々な言語活動を行う。具体的には、教科書で扱う様々な教材をもとに、文章・資料読解やレポート作成などの「読む」「書く」活動や、グループでのディスカッションなどの「話す」「聞く」活動を行っていく。学習評価については、単元ごとに知識理解の定着を評価し定期的に実施される考査や小論文により、知識理解の深度と論理的思考力を評価する。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点	知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	○ 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解している。 ○ 地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を示せる。 ○ 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様性を尊重し相互理解を示せる。 ○ 自らの学びを深めるための具体行動がとれる。
	習得する (わかる)	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。	○ 上記内容について、到達しようとする活動がある。
評価方法	定期考査・課題	定期考査・小論文(レポート)・ディスカッション	授業に取り組む姿勢・主体課題の到達度

単元別 評価規準

第1部 地図でとらえる現代世界

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	○ 読図などをもとに、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ○ 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集・読解し、まとめる基礎的・基本的な技能がある。	○ 現代世界の地域構成について、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察・表現できる。 ○ 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現できる。	○ 現代世界の地理的な構成について理解を深めるための行動が示せる。 ○ 地理的思考を身に着けることの意義を考えることができる。
	習得する (わかる)	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。

第2部 国際理解と国際協力

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	○ 世界の人々の多様な特色ある生活文化の背景には、地理的環境との相互作用があることを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図る重要性が理解できる。 ○ 地球規模の課題について、共通する傾向性や相互の関連性などを読解して、課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることを理解できる。	○ 世界の人々の生活文化を分析し、その多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、論理的に表現できる。 ○ 地球的課題について、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、論理的に表現できる。	○ 世界の人々の生活文化について、自分の生活文化と比較しながら理解を深めようとする行動が示せる。 ○ 地球的課題について、自身の生活とひもづけて考察しようとする行動が示せる。 ○ 自らの理解を深めるための効果的な行動が示せる。
	習得する (わかる)	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。

第3部 持続可能な地域づくりと私たち

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる (できる)	○ 自然環境の特色と災害への備え・対応との関連性、およびその規模や頻度、地域性を踏まえた防災・減災の重要性が理解できる。 ○ 各種の地理情報を収集・読解しまとめる地理的スキルがある。 ○ 地理的な課題の解決に向けた取組や探究手法について理解できる。	○ 地域性を踏まえた防災・減災について、地理的視点をふまえて多面的・多角的に考察し、論理的に表現できる。 ○ 生活圏の地理的な課題について、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察・構想し、論理的に表現できる。	○ 自然災害に備えた防災・減災について、自分の地域を題材に自分とその家族が生き残るための具体的な行動が探究できる。 ○ 自らの生活圏の地理的な課題について、地理的な概念とひもづけて考えられる。
	習得する (わかる)	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。	○ 上記内容について、到達しようとする行動がみられる。